



平成 23 年 11 月 11 日

各 位

会社名 中外鉱業株式会社
代表者名 代表取締役社長 安藤道明
(コード番号 1491 東証・大証二部)
問合せ先 IRセンター室長 桜庭 勲
(TEL. 03-3201-1541)

平成 24 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び
通期業績予想の修正並びに特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、特別損失を計上するとともに、平成 23 年 5 月 13 日に公表いたしました平成 24 年 3 月期の第 2 四半期連結累計期間（平成 23 年 4 月 1 日から平成 23 年 9 月 30 日）の業績予想値と本日公表の実績値に下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、平成 24 年 3 月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 業績予想値と実績値の差異

平成 24 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間（平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日）

(金額の単位 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	16,300	40	10	0	0円00銭
実績値 (B)	15,741	770	801	857	2円96銭
増減額 (B - A)	559	810	811	857	-
増減率 (%)	3.4	-	-	-	-
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 3 月期第 2 四半期)	15,981	70	43	270	0円93銭

(2) 業績予想値の修正

平成 24 年 3 月期 通期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

(金額の単位 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	33,000	130	60	40	0円14銭
今回修正予想 (B)	32,500	670	740	800	2円76銭
増減額 (B - A)	500	800	800	840	-
増減率 (%)	1.5	-	-	-	-
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 3 月期)	31,778	387	437	322	1円11銭

2. 個別業績予想の修正

(1) 業績予想値と実績値の差異

平成24年3月期 第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日~平成23年9月30日)

(金額の単位 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	15,400	20	0	0	0円00銭
実績値(B)	14,805	305	323	585	2円02銭
増減額(B-A)	595	325	323	585	-
増減率(%)	3.9	-	-	-	-
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	15,012	69	85	257	0円89銭

(2) 業績予想値の修正

平成24年3月期 通期(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

(金額の単位 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	31,200	60	10	0	0円00銭
今回修正予想(B)	30,549	260	300	570	1円97銭
増減額(B-A)	651	320	310	570	-
増減率(%)	2.1	-	-	-	-
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	29,990	496	523	335	1円16銭

3. 修正の理由

金・銀・プラチナ等の貴金属価格は上昇基調にあったことに加え、仕入れコストの削減が寄与し、業績は概ね順調に推移したものの、投資取引において運用損失及び評価損失を計上したことから、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益が、前回見込を下回ることになりました。

4. 特別損失の計上及びその内容

当社は、「固定資産の減損に係る会計基準」を踏まえ、減損損失が認識された賃貸等不動産については、帳簿価額を回収可能価額まで減額したことにより、減損損失77,200千円を計上いたしました。

また、減損損失が認識された遊休資産については、回収可能価額を備忘価格まで減額したことにより、減損損失26,902千円を計上いたしました。

この結果、特別損失として減損損失104,102千円を計上いたしました。

注) 上記の予想は、発表日現在における入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上